

水道事業経営状況について

1. 水道事業の概要

名寄市の水道事業は、昭和 32 年の創設事業から始まり、現在は令和 4 年度を目標年次として、平成 7 年度に第 2 期拡張事業の認可を受け、新たに水源をサンルダムに依存し、拡張事業を継続中でありま

す。
平成 28 年 4 月には特別会計として経営していた 3 地区（智恵文中央、智恵文八幡、風連日進）の簡易水道事業を事業統合して今日に至っています。

また、緑丘浄水場から風連浄水場への送水による安定的な水供給に向けて送水管布設工事を実施し、令和 2 年 5 月に水利権変更の許可を受け、同年 6 月から供給を開始しました。

※令和 2 年度末現在

【事業創設認可年月日】《名寄》 昭和 32 年 3 月

《風連》 昭和 36 年 6 月

【供用開始年月日】《名寄》 昭和 35 年 11 月

《風連》 昭和 36 年 12 月

【計画給水人口】 25,820 人

【現在給水人口】 24,250 人

【給水戸数】 12,749 戸

【浄水場数】 6 浄水場

（緑丘浄水場・川西浄水場・瑞穂
浄水場・智恵文中央浄水場・智恵
文八幡浄水場・風連日進浄水場）

【管延長】 導水管 3,820m

送水管 9,860m

配水管 341,130m

【配水能力】 12,080 $\text{m}^3/\text{日}$

【1日最大配水量】 9,163 $\text{m}^3/\text{日}$

【年間総配水量】 2,838,649 m^3

【年間総有収水量】 2,288,130 m^3

【有収率】 80.61 %

※給水戸数、管延長は「地方公営企業決算状況調査」（総務省）報告値による。



緑丘浄水場



風連浄水場
（緑丘浄水場から受水）



川西浄水場



瑞穂浄水場



真勲別頭首工



智恵文中央浄水場



智恵文八幡浄水場



風連日進浄水場

2. 令和2年度 水道事業決算

(1) 総括事項

令和2年度における水道事業の給水人口は、24,250人で行政区域内人口に対する普及率は90.80%となっており、有収率については、前年度の有収率から2.25ポイント増加し80.61%となっています。

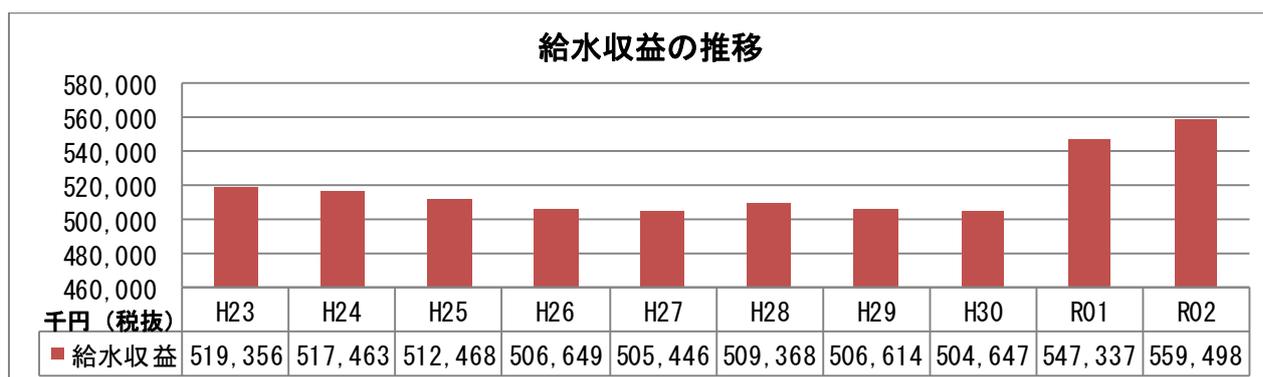
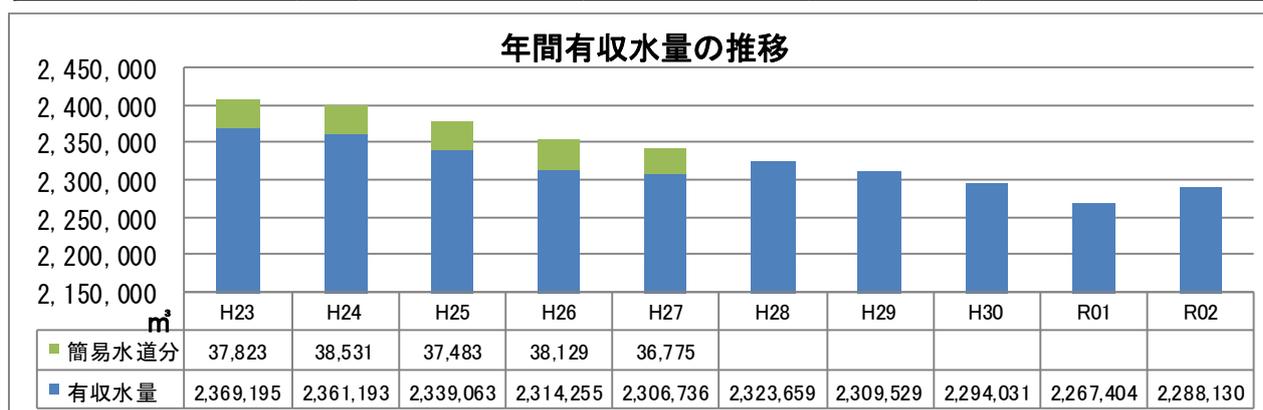
令和2年度決算において、特別利益（長期前受金戻入等）として、18,126千円を利益計上しており、収益的収支で44,899千円の純利益を計上し、前年度繰越利益剰余金93,544千円により当年度未処分利益剰余金は138,443千円となりました。昨年同様、積立金等に処分せずに未処分利益剰余金として繰越します。

資本的収支では、事業費前年比9,166千円減となり、資本的収支不足額が4.08%増加しています。

水道事業としては、安全安心な水を安定的に供給するために、水源確保と水質管理の強化を図り、経営戦略に基づき経営の健全化に向け施設の効率的な維持管理や計画的な更新と経費の節減に努めてまいります。

【給水状況】

事 項	単位	R 2 年度	R 1 年度	対前年度比較	備考	
行政区域内人口	人	26,708	26,993	△ 285	住民基本台帳3月末人口	
給水区域内人口	人	26,143	26,237	△ 94	給水区域内の3月末人口	
給水人口	人	24,250	24,562	△ 312	住民基本台帳上の給水者数	
普及率	行政区域内	%	90.80	90.99	△ 0.19	
	給水区域内	%	92.76	93.62	△ 0.86	
年間総配水量	m ³	2,838,649	2,893,706	△ 55,057	浄水場からの配水量	
1日平均配水量	m ³	7,777	7,906	△ 129		
1日最大配水量	m ³	9,163	8,706	457		
年間有収水量	m ³	2,288,130	2,267,404	20,726	水道料金の対象となった水量	
有収率	%	80.61	78.36	2.25	年間有収水量/年間総配水量	



(2) 収益的収支〔施設の運転・管理等、水道事業を運営するための経費とその財源〕

収益的収入では、平成31年4月に料金改定を行っており、給水人口は減少しておりますが、有収水量は増加しており、給水収益は前年度比2.22%増の559,498千円となり、営業収益、営業外収益を併せて679,011千円、前年度比0.32%の増となりました。

収益的支出では、各費目において経費の節減を図ることとしており、営業費用、営業外費用を併せて651,774千円となり前年度比0.55%増となりました。

これにより経常的な収支では27,237千円のプラスとなっております。

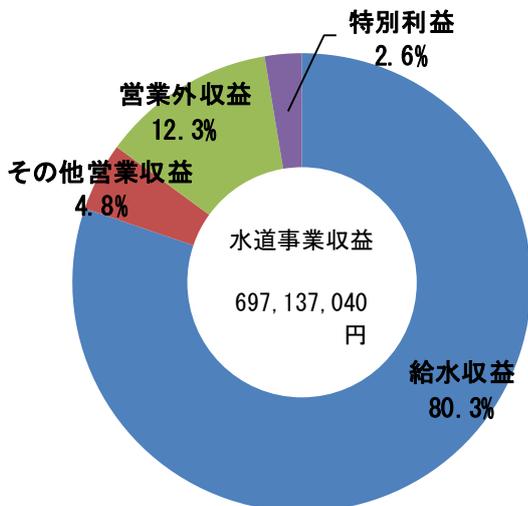
当年度の純損益につきましては、特別利益として18,126千円、特別損失464千円を計上しており、44,899千円の純利益を計上することとなりました。

【収益的収支】

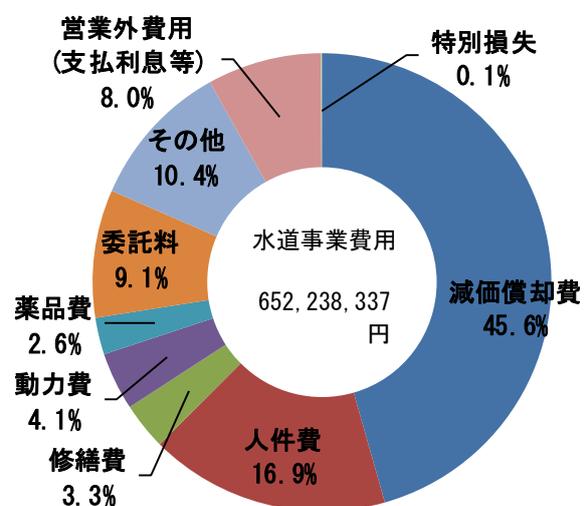
(単位:円[税抜])

科目	R2当初予算	R2決算	R1決算	差額	増減率
経常収益	689,742,000	679,011,111	676,812,232	2,198,879	0.32%
営業収益	605,183,000	593,092,879	591,454,046	1,638,833	0.28%
うち給水収益	560,930,000	559,497,575	547,336,612	12,160,963	2.22%
営業外収益	84,559,000	85,918,232	85,358,186	560,046	0.66%
経常費用	679,070,000	651,774,443	648,185,647	3,588,796	0.55%
営業費用	626,368,000	599,537,962	591,755,395	7,782,567	1.32%
営業外費用	52,702,000	52,236,481	56,430,252	△4,193,771	△7.43%
経常損益	10,672,000	27,236,668	28,626,585	△1,389,917	△4.86%
特別利益	669,000	18,125,929	2,965,060	15,160,869	511.32%
特別損失	465,000	463,894	72,000	391,894	544.30%
当年度純損益	10,876,000	44,898,703	31,519,645	13,379,058	42.45%
前年度繰越利益剰余金	78,990,000	93,544,365	62,024,720	31,519,645	50.82%
当年度未処分利益剰余金	89,866,000	138,443,068	93,544,365	44,898,703	48.00%

R2 水道事業収益の構成割合



R2 水道事業費用の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

(3) 資本的収支〔施設を建設整備するための経費とその財源〕

資本的収支では、資本的収入額 262,702 千円に対して、資本的支出額は 565,660 千円となり、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 302,958 千円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 23,730 千円及び過年度分損益勘定留保資金 279,228 千円で補填いたしました。

主な整備事業として、老朽管更新工事等で 115,845 千円、量水器取替工事で 78,540 千円、浄水場施設整備工事等で 62,051 千円など取り組んでまいりました。

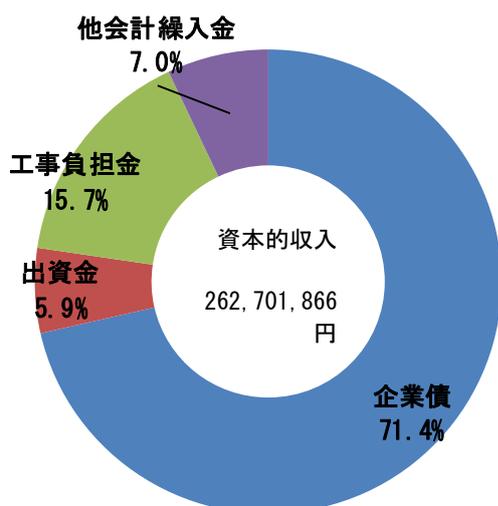
【資本的収支】

(単位:円[税込])

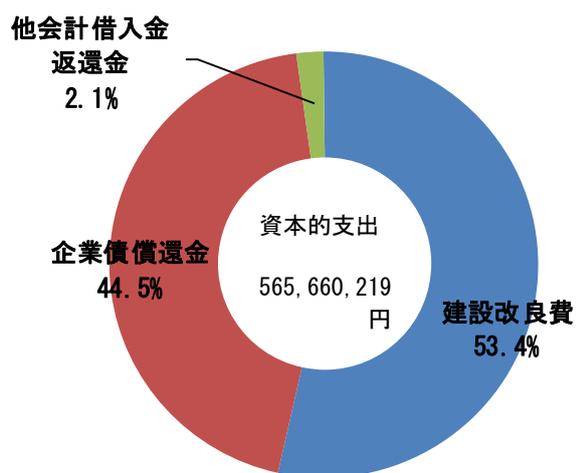
科目	R 2 当初予算	R 2 決算	R 1 決算	差額	増減率
資本的収入	304,030,000	262,701,866	283,731,589	△ 21,029,723	△ 7.41%
企業債	229,800,000	187,600,000	209,600,000	△ 22,000,000	△ 10.50%
出資金	15,535,000	15,535,286	14,038,064	1,497,222	10.67%
工事負担金	40,286,000	41,116,500	40,820,700	295,800	0.72%
他会計繰入金	18,409,000	18,450,080	19,272,825	△ 822,745	△ 4.27%
資本的支出	617,692,000	565,660,219	574,826,661	△ 9,166,442	△ 1.59%
建設改良費	354,231,000	302,200,300	328,306,268	△ 26,105,968	△ 7.95%
企業債償還金	251,821,000	251,819,919	234,880,393	16,939,526	7.21%
他会計借入金返還金	11,640,000	11,640,000	11,640,000	0	0.00%
資本的収支(不足額)	△ 313,662,000	△ 302,958,353	△ 291,095,072	△ 11,863,281	△ 4.08%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。

R 2 資本的収入の構成割合



R 2 資本的支出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

(4) 令和2年度の主な事業

◎第2期拡張事業《企業債》 22,528,000円

自衛隊名寄駐屯地への配水管布設

【主な工事】

- ・配水管新設整備工事

◎老朽管更新事業《企業債》 112,387,000円

耐用年数が経過した配水管を計画的に更新する。令和2年度末現在、耐用年数(40年)の経過している管延長は84,588m

【主な工事等】

- ・東3条通老朽管更新工事
- ・国道40号(19線～20線)老朽管更新工事
- ・国道40号(16線～18線)老朽管更新工事
- ・徳田1号線道路改良舗装工事に伴う配水管布設替工事
- ・風連東大通線老朽管更新工事
- ・老朽管更新実施設計業務委託



(老朽管敷設工)



(融着状況)

◎浄水場施設改修事業《企業債(一部)》 69,311,000円

各浄水場の施設整備、水源井の改修など9工事

【主な工事】

- ・緑丘浄水場 PAC・前苛性ソーダ注入設備更新工事《企業債》
- ・緑丘浄水場 中央監視室エアコン更新工事《企業債》
- ・風連浄水場配水ポンプコントローラ外更新工事《企業債》
- ・東風連送水ポンプ施設送水ポンプ盤更新工事《企業債》
- ・智恵文中央浄水場外井戸改修工事
- ・風連日進浄水場 水質計器外更新工事《企業債》
- ・真勲別頭首工ゲートワイヤーロープ更新工事



(PAC・前苛性ソーダ注入設備)



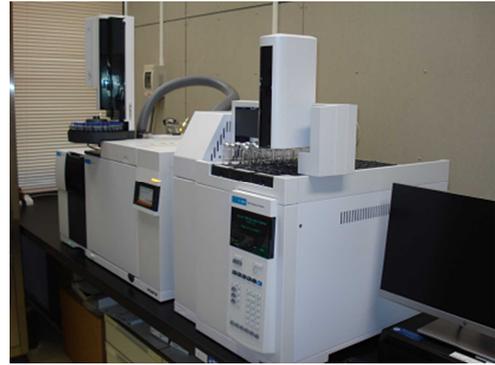
(風連浄水場 配水ポンプコントローラ)

◎水質検査機器更新事業《企業債》 6,358,000円

北海道水質管理計画に基づく中核自治体として、近隣市町村を含めた水質検査業務を受託しており、耐用年数が経過した機器を計画的に更新している。

【更新機器】

- ・ヘッドスペースガスクロマトグラフ質量分析計《企業債》



(水質検査機器)

◎水道量水器取替工事《工事負担金》 78,540,000円

量水器（水道メータ）は計量法に基づき使用期限が製造から8年間と定められていることから、使用期限前に取替工事を行っている。

財源は、工事負担金（下水道事業と個別排水事業から台数按分）と自己財源。

【取替数】

- ・名寄地区 1,647個
- ・風連地区 249個
- ・智恵文地区 23個
- ・風連日進地区 6個
- 合計 1,925個



(量水器取替)

3. 令和3年度予算の概要

(1) 収益的収支

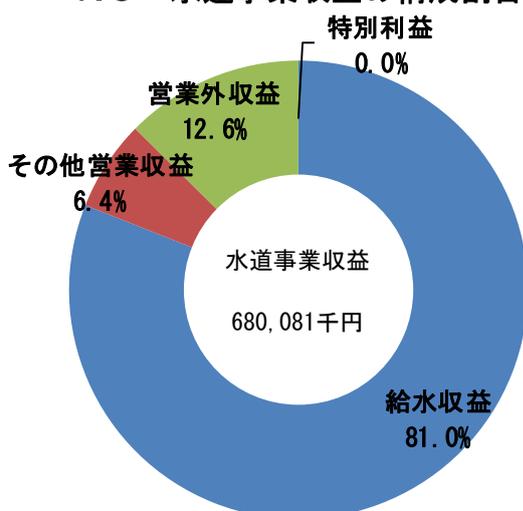
令和3年度については、給水収益の減少が見込まれますが、費用で退職給付費、減価償却費等の減に伴う費用の減少があり、1,817千円の純利益を見込んでおります。

【収益的収支】

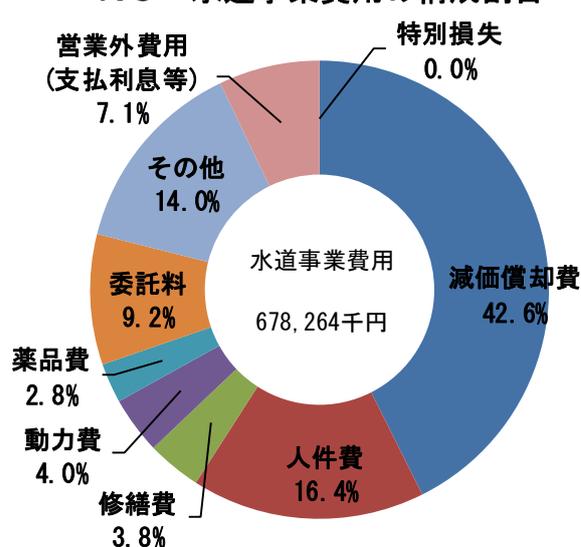
(単位：千円[税抜])

科目	R 2 当初予算	R 3 予算	差額	増減率
経常収益	689,742	680,032	△ 9,710	△ 1.41%
営業収益	605,183	594,681	△ 10,502	△ 1.74%
うち給水収益	560,930	551,115	△ 9,815	△ 1.75%
営業外収益	84,559	85,351	792	0.94%
経常費用	679,070	678,264	△ 806	△ 0.12%
営業費用	626,368	630,137	3,769	0.60%
営業外費用	52,702	48,127	△ 4,575	△ 8.68%
経常損益	10,672	1,768	△ 8,904	△ 83.43%
特別利益	669	49	△ 620	△ 92.68%
特別損失	465	0	△ 465	△ 100.00%
当年度純利益	10,876	1,817	△ 9,059	△ 83.29%
前年度繰越利益剰余金	78,990	127,013	48,023	60.80%
当年度未処分利益剰余金	89,866	128,830	38,964	43.36%

R 3 水道事業収益の構成割合



R 3 水道事業費用の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

(2) 資本的収支

令和3年度の主な事業として、自衛隊名寄駐屯地への配水管布設のため配水管新設整備工事を行います。また、2ヵ年計画で行っている上水道事業固定資産整理業務委託（水道施設）が最終年度となります。老朽管更新事業については、昨年度と同程度の工事を進め、浄水場施設改修事業については老朽化に伴う計画的な改修を行います。

収入については、事業費が増加した分については企業債が増加となっておりますが収支不足額は若干増加しております。安全安心な水道サービスを提供するためにも、「施設・設備の老朽化対策」と「企業債の増加の抑制」を検討し、今後の収支計画を元に適正な受益者負担を考えていかなければなりません。

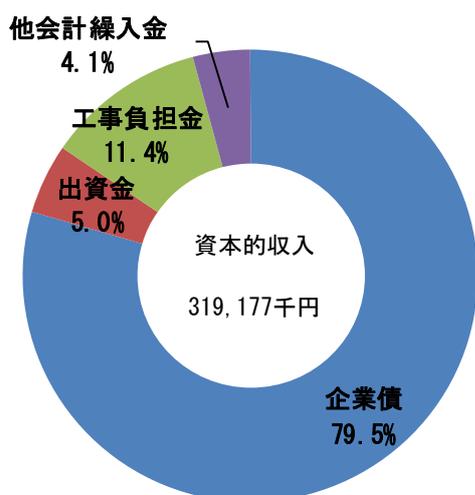
【資本的収支】

(単位:千円[税込])

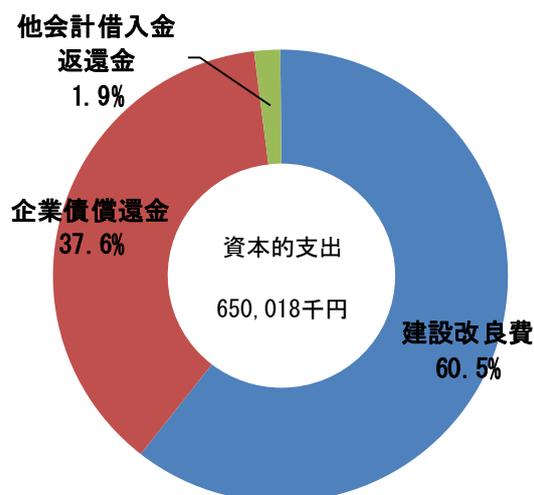
科目	R 2 当初予算	R 3 予算	差額	増減率
資本的収入	304,030	319,177	15,147	4.98%
企業債	229,800	253,900	24,100	10.49%
出資金	15,535	15,998	463	2.98%
工事負担金	40,286	36,318	△ 3,968	△ 9.85%
他会計繰入金	18,409	12,961	△ 5,448	△ 29.59%
資本的支出	617,692	650,018	32,326	5.23%
建設改良費	354,231	371,691	17,460	4.93%
企業債償還金	251,821	266,687	14,866	5.90%
他会計借入金返還金	11,640	11,640	0	0.00%
資本的収支(不足額)	△ 313,662	△ 330,841	△ 17,179	△ 5.48%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。

R 3 資本的収入の構成割合



R 3 資本的支出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

(3) 令和3年度の主な事業

【主な事業】

- ◎第2期拡張事業《企業債》 23,430千円
 - ・自衛隊名寄駐屯地への配水管布設を予定

- ◎配水管網整備事業《企業債》 11,000千円
 - ・給水区域内配水管網整備工事（φ50～φ75 L=380m）を予定

- ◎老朽管更新事業《企業債》 120,600千円
 - ・道道西風連名寄線老朽管更新工事（HPPEφ100 L=240m）他7工事を予定

- ◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 88,540千円
 - ・緑丘浄水場1,2拡薬品注入設備更新工事他、緑丘浄水場4工事、風連浄水場1工事、風連日進浄水場2工事、水源井改修1工事を予定

- ◎水質検査機器更新事業《企業債》 6,700千円
 - ・イオンクロマトグラフ他の更新を予定

- ◎水道量水器取替工事《工事負担金》 79,050千円
 - ・名寄地区1,371台、風連地区311台、智恵文地区2台、風連日進地区7台の量水器（水道メータ）交換工事を予定
 - 財源は下水道事業、個別排水事業から工事台数按分による工事負担金と自己財源

- ◎固定資産整理業務委託（水道施設） 6,500千円
 - ・水道施設台帳整備、固定資産台帳の整備等